

地域密着型金融の取組み

(平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月)

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

■経営改善支援体制の強化

(1) 目的

地元中小・零細企業が衰退することは地域経済の活性化の源を失うことになるため、当金庫では地域の中小・零細企業に対する経営改善支援の体制強化を図っております。

(2) 取組み内容

①経営改善支援への取組み

審査二課「経営サポートチーム」(以下チーム)を設置し、現在課長以下4名(うち中小企業診断士3名)を配置しております。営業店とのヒアリングの実施(年1回)により支援活動に関する行動目標を設定の上、経営者との話し合いから企業の抱える課題、問題点を把握し、改善策の立案、経営改善計画の策定支援を行っています。

②人材の育成

少人数による、より実践的な営業店職員に対する経営改善計画書作成研修(29人)を行いました。また、経営改善計画書の策定にあたり、取引先企業へのチームとの同行訪問により営業店職員の意識と能力の向上を図りました。

③提供サービスの充実

法人取引先の貸借対照表・損益計算書の分析資料をフィードバックし、収益増強のための改善策・財務内容改善のためのポイントをお伝えする「企業診断サービス」を実施しております。平成23年度は399社のご利用がありました。

④外部支援機関との積極的な連携

(イ) 中小企業再生支援協議会の活用

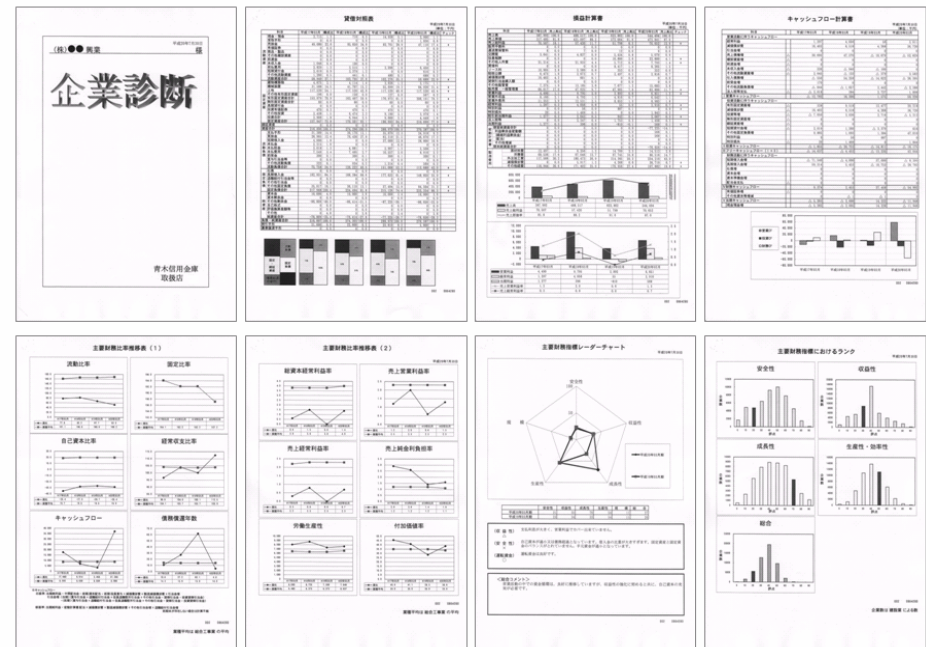
取引先企業の再生計画を立てる際、取引先企業のビジネスモデル自体

の見直しが必要であったり、他の金融機関との調整が必要である場合があります。いずれも当金庫単独では対応が困難である場合が多く、取引先企業の業種、企業規模(従業員数・売上高)、収益改善見込み、財務内容、取引内容(主要行・他行取引状況)等を総合的に検討の上、中小企業再生支援協議会の機能を活用し、同協議会との連携により中身の濃い支援活動を行っています。

(ロ) 経営相談への対応

取引先企業のより専門的な経営相談に関しては、中小企業支援ネットワーク強化事業の活用や、中小企業基盤整備機構、信金中央金庫、商工会議所等の外部支援機関との連携により経営課題の解決に努めています。

【企業診断の報告書イメージ】



(3) 成果

平成 23 年度の経営改善支援先については、債務者区分のランクアップは 8 先となり、新規の経営改善計画書の作成支援先は 11 社 (前年度 30 社) となりました。

【平成23年4月～平成24年3月 経営改善支援取り組み実績】

		経営改善支援取り組み先数	αのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 β	αのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 γ	αのうち再生計画を策定した先数 δ	ランクアップ率	再生計画策定率
		α	β	γ	δ	β / α	δ / α
正常先	①	10		9	8		80.0%
要注意先	②	99	7	85	58	7.1%	58.6%
うち要管理先	③	5	1	4	2	20.0%	40.0%
破綻懸念先	④	2	0	1	1	0.0%	50.0%
実質破綻先	⑤	0	0	0	0	0.0%	0.0%
破綻先	⑥	0	0	0	0	0.0%	0.0%
小計 (②～⑥の計)		106	8	90	61	7.5%	57.5%
合 計		116	8	99	69	6.9%	59.5%

■各種相談会の実施

(1) 目的

お客さまが直面する問題、課題について個別に対応する機会を設け、皆さまのニーズや期待にお応えしたいと考えております。

(2) 取り組み内容

①年金相談会の実施

専門知識を持つ金庫職員による「年金相談サービス」を営業店単位で年 1 回行っております。年金のもらい忘れ、新規受給手続きなど年金に関するご相談にお応えしました。

②税務相談会の実施

税理士による「税務相談サービス」を毎月 2 回行っております。相続税、贈与税、所得税等、税金に関する諸事項についてご相談にお応えしました。

③相続関連業務相談会の実施

弁護士、税理士の資格を持つ(株)朝日信託社員による「相続関連業務相談会」を平成 23 年 8 月より開始しました。相続や事業承継についてのご相談にお応えしました。

(3) 成果

平成 23 年度は以下のとおり開催し、ご相談をお受けしました。

各種相談会	回数	件数
年金相談会	37 回	197 件
税務相談会	24 回	48 件
相続関連業務相談会	3 回	20 件

■人材の育成強化と目利き機能を取り込んだ審査および営業体制の構築

(1) 目的

融資担当者には、取引先の事業価値を見極め、審査する目利き能力や、スムーズな実行に不可欠な貸出稟議書作成ノウハウ等のスキルアップが必要であることから、人材の育成を図ると共に、目利き機能を取り込んだ審査および営業体制の構築に取り組んでいます。

(2) 取組み内容

- ①融資管理・回収、自己査定を含む関連業務スキルアップのための集合研修を実施しました。(2 講座・4 日間・延べ 58 人)
- ②融資業務に関する基本的な事項の習得を目的としたサタデースクール(8 回・延べ 233 人)を実施しました。また、融資審査トレーニー(6 人)を行い、融資担当役席の審査能力の向上を図りました。
- ③外部派遣研修として目利き力実践講座、経営分析・目利き力強化セミナー等に職員を派遣しました。(9 講座・19 日間・16 人)

(3) 成果

取引先企業の業種・規模・キャッシュフロー・将来の見通しを考慮した個別提案型の融資案件が増加しつつあります。

2. 地域の面的再生への積極的な参画

■地域の活性化

(1) 目的

当金庫がコンプライアンスの基本方針として制定している「青木信用金庫行動綱領」においては「地域社会が金庫の存続基盤であることを自覚し、積極的に社会貢献活動に取り組む」と定めております。これを具体的に実践することにより、地域の皆さまのご期待に応え、地域経済全体の活性化に寄与するとともに、金庫の経営基盤の維持、拡大を図ることができると考えております。

(2) 取組み内容

- ①「地域安全マップ」作製の支援(平成 23 年 7 月 8 日)
- ②第 30 回川口マラソン大会への協賛(平成 23 年 12 月 4 日)
- ③高校生インターンシップの実施(平成 24 年 2 月 13 日～2 月 17 日)

(3) 成果

平成 18 年度より継続的に小学校に対する「地域安全マップ」作製を支援し、子供を犯罪から守るという社会的要請に応えることができました。

「川口マラソン大会」では、6,000 人を超すランナーが参加し、活気あふれる大会となりました。

平成 19 年度より継続的に高校生の「インターンシップ」を受け入れ、「金融経済教育」という点で貢献できました。

【地域安全マップ作製支援の様子】



【川口マラソンの様子】



【高校生インターンシップの様子】



■環境保全活動

(1) 目的

地域の将来的な活性化のためには、環境づくりが重要であることから、環境保全活動について、金融商品を通じて積極的に取り組んでいます。

(2) 取組み内容

平成 23 年度において当金庫は、「チャレンジ 25 キャンペーン」(環境省)に協賛し、その一員として地球温暖化防止策を推進し、次のとおりエコカー購入者に対する適用金利や、「チャレンジ 25 キャンペーン」宣言カードの写を提出いただいた方等に対する適用金利により、CO₂削減を推進しました。

①金利 (平成 24 年 3 月 31 日現在)

商品名	基準金利	適用金利	特別適用金利
カーライフプラン	2.70%	2.20% (A)	1.80% (B)
教育ローン	3.30%	2.40% (C)	—
リフォームローン	4.50%	3.70%	2.95% (D)

②適用条件

(A)、(C)： 環境省「チャレンジ 25 キャンペーン」宣言カードの写を提出いただいた方

(B)： エコカーを購入される方

(D)： エコ関連設備に係るリフォームを目的として利用される方

(3) 成果

【平成 23 年度実績】

商品名	実行件数	実行額
カーライフプラン	502 件	808 百万円
教育ローン	278 件	265 百万円
リフォームローン	32 件	58 百万円

■ 地域企業の発展支援

(1) 目的

地域の企業と一緒に、金庫も成長していきたいと考えております。地域金融機関として地域企業の発展、事業拡大に向けた取り組みを、様々な側面からサポートしております。

(2) 取組み内容

- ①芝浦工業大学が主催する「産学官連携研究交流会」（平成 24 年 3 月 16 日）への後援を行い、金庫取引先、職員計 37 名が参加いたしました。
- ②あおしんビジネスクラブ「第 18 回経済講演会」（平成 23 年 10 月 12 日）を開催し、約 250 名の来場者がありました。
- ③「彩の国ビジネスアリーナ 2012」（平成 24 年 1 月 25 日、26 日）を開催し、金庫のお取引先 15 社が出席しました。

(3) 成果

「産学官連携研究交流会」では、大学の研究室が持つ多様な研究分野から得た新製品の開発のためのヒントやノウハウを、金庫の取引先に紹介することができました。

「経済講演会」では、東京農業大学名誉教授の小泉武夫氏の講演が行われ、好評を得ることができました。

「彩の国ビジネスアリーナ 2012」では、新たな取引先や商品・新技術等の発見の機会として活用していただき、4 社で 8 件の商談成立がありました。

【産学官連携研究交流会】



【第 18 回経済講演会】



【彩の国ビジネスアリーナ 2012】



3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

■ディスクロージャー誌、ホームページからの情報発信

(1) 目的

単なる金融仲介機能を果たすだけにとどまらず、コンサルティング機能を発揮するとともに、地域社会への貢献活動に取り組んでいることを、地域と地域の皆さまに知っていただくことが重要であることから、常に情報発信に努めております。

(2) 取組み内容

「あおしんレポート」(法定および半期開示ディスクロージャー誌)をそれぞれ発行する一方、ホームページをタイムリーに更新し、金庫の取組みについてお知らせいたしました。

(3) 成果

金庫の地域金融機関としての取組みについて、より多くの方々に知っていただく機会ができました。

■「あおしん景況レポート」の刊行

(1) 目的

川口市を中心とした最近の中小企業の動向を把握するため、調査し、取りまとめを行っております。

(2) 取組み内容

平成23年度も3ヶ月ごと、年4回刊行しました。

(3) 成果

地域の景気動向や経営上の問題点等に関する情報をご提供することができました。

【ディスクロージャー誌のイメージ】 【あおしんホームページのイメージ】



【あおしん景況レポート】

